

ReSound

ReSound
AZURE™



耳あな形補聴器 AZ

取扱説明書


- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> AZ 10 | <input type="checkbox"/> AZ 40-DP |
| <input type="checkbox"/> AZ 10-P | <input type="checkbox"/> AZ 50 |
| <input type="checkbox"/> AZ 10-B | <input type="checkbox"/> AZ 50-D |
| <input type="checkbox"/> AZ 10-BP | <input type="checkbox"/> AZ 50-P |
| <input type="checkbox"/> AZ 20 | <input type="checkbox"/> AZ 50-DP |
| <input type="checkbox"/> AZ 20-P | |
| <input type="checkbox"/> AZ 30 | |
| <input type="checkbox"/> AZ 30-D | |
| <input type="checkbox"/> AZ 30-P | |
| <input type="checkbox"/> AZ 30-DP | |
| <input type="checkbox"/> AZ 40 | |
| <input type="checkbox"/> AZ 40-D | |
| <input type="checkbox"/> AZ 40-P | |



製造販売元

ジーエヌリサウンドジャパン株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3
MMパークビル8F

 0120-921-310 (TEL)
0120-636-392 (FAX)

はじめに

管理医療機器 耳あな型補聴器

耳あな形補聴器 AZ


この度はジーエヌリサウンド補聴器をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。


この取扱説明書では当補聴器の操作手順、機能、故障が疑われる場合の原因と対策などについて説明しています。お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)


この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および軽傷または物的損傷が発生する頻度が高い内容を示しています。
---	---

 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。
---	--

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し説明しています。

 禁止	この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
---	-------------------------

重 傷：失明・ケガ・火傷・骨折・中毒など、後遺症が残ったり治療のための入院や長期の通院を必要とするものを示します。

軽 傷：重傷に該当しないケガ・火傷などを示します。

物的損傷：家屋・家財ならびに人身以外の家畜やペットに関わる拡大損害を示します。

使用者：本機器の使用者を想定しています。ただし、使用者は購入者だけでなく、その家族・友人など第三者・購入者から製品を譲渡された者などを含みます。

目次

1. お使いになる前に (使用上の注意)	1
2. 製品概要	4
2-1. 付属品の確認	4
2-2. 各部の名称と役割	5
2-3. 指向性マイク (マイク2) について	11
3. 電池使用上の注意	12
4. 電池の交換方法	14
4-1. 電池を取り出す	14
4-2. 電池を入れる	14
4-3. 使用電池と電池寿命の目安	16
4-4. 電池寿命お知らせ機能	17
5. 基本的な使い方	18
5-1. 電源の入れ方／切り方	18
5-2. 補聴器の装着	24
5-3. プログラム選択ボタンの使い方	26
5-4. ボリュームの使い方	28
5-5. 電話での使用	29
5-6. テレコイル (オプション) について	29
6. 耳垢ガードの交換	30
7. 日頃のお手入れ	32
8. 故障かな?と思ったら	34
9. アフターサービスについて	38
10. 性能表	39
11. 音響諸特性	43

1 お使いになる前に (使用上の注意)

補聴器はきこえを助ける医療機器です。ここに示した警告や注意事項は補聴器を正しく使っていただき、装用者ご本人や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。以下の項目をお読みになり、取扱いにご注意ください。

警告

- (1) お子様に触れないようご注意ください。
飲み込むと窒息の危険を伴う小さなパーツを含んでいるので、幼児の手に触れさせないようお願いいたします。

注意

- (2) 衝撃・熱を避けてください。
補聴器に強い衝撃をあたえたり、落としたりしないでください。また、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの上など、高温となる場所での使用・放置はしないでください。
- (3) 補聴器はいつも清潔にしておいてください。
就寝時には必ず補聴器を外してお手入れをしてください。
- (4) 適切な音量でご使用ください。
必要以上に大きな音を長時間聴取すると、聴力低下を招く場合があります。
- (5) 補聴器はお使いになる方のきこえ具合に合うように調整する必要があります。
この補聴器は、販売店でお使いになる方のきこえ具合に合わせて調整してもらってから装用してください。

(6) 補聴器を装用しても良く聞き取れない音もあります。

小さすぎる音、遠くの音や周囲の雑音が大きい環境下での音声は十分に聞き取れないこともあります。このような場合は音源に近づくか、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

(7) ハウリング（ピーピー音）にご注意ください。

シェルがきちんと収まっていない場合や、抜けかけて隙間ができた場合などには特にハウリングが起りやすく、装用者に不快感を与えるばかりでなく、周囲の人にも迷惑をかけることとなります。ご自分でハウリング音を確認できない場合は、ご家族など周囲の人にもきいてもらい、補聴器を正しく入れ直してください。

(8) 補聴器を分解したり、ご自分で修理・改造等を絶対にしないでください。

(9) 補聴器を装用して炎症が生じたら・・・

この補聴器の皮膚に接する部分には、かぶれや炎症等を起こしにくい材料を使用していますが、装用者の体質によっては、まれにかぶれや湿疹等を生じることがあります。このようなときは、ただちに補聴器の装用を中止し、医師へご相談ください。

(10) 低周波治療器・電磁（IH）調理器などによって補聴器に雑音が発生することがあります。



(11) 補聴器を水に濡らさないでください。

補聴器を装用したまま泳いだり、お風呂に入ったり、洗顔しないでください。

(12) 補聴器を他人に貸さないでください。

補聴器は本人以外絶対で不使用にならないでください。他の人がこの補聴器を装用しても音量や音質が合わずきこえにくいばかりでなく、耳を痛める場合があります。

(13) 補聴器は乾燥した状態で保管してください。

補聴器が、湿気の多いところや汗などにさらされていた場合、柔らかい布かティッシュペーパー等で湿気や油分をきれいに拭き取ってください。補聴器を乾燥させる目的で、ヘアドライヤーや電子レンジ等を絶対に使わないでください。

(14) 古い電池を使わないでください。

(15) 補聴器を長時間使わないときは、電池を本体から外してください。

使い切った電池を補聴器に入れたままにすると、漏液する可能性があり、故障の原因になります。

(16) 病院内の検査機器にご注意ください。

MRI や CT スキャナーなどの検査は補聴器に損傷をあたえる可能性がありますので、同種の検査中は補聴器の装用をおやめください。

2 製品概要

2-1 付属品の確認

この補聴器には、補聴器を保管したり持ち歩いたりするための携帯用ケースの他に、以下のものが付属されています。補聴器をご使用になる前に、必ず確認してください。万一不足するもの、また破損しているものなどがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

(□にチェックマークをして、確認されることをおすすめします)

① □電池

AZ 10、10-P、10-B、10-BP

AZ 20、20-P

(PR536/10A) 【1個】

AZ 30、30-D、30-P、30-DP

AZ 40、40-D、40-P、40-DP

(PR41/312) 【1個】

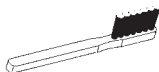
AZ 50、50-D、50-P、50-DP

(PR48/13) 【1個】



② □耳垢掃除ブラシ

【1本】

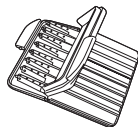


③ 耳垢ガード

□セルストップ

【1ケース】

(セルストップ以外の耳垢ガードを選択した場合、セルストップは付属しません)



④ □乾燥ケース

【1個】



⑤ □クリーニングクロス

【1枚】



※両耳でご購入された場合、電池は2個、耳垢ガードは2ケースとなります。

2-2 各部の名称と役割

●AZ 10、10-Pの場合

①マイク（音の入口）

音声を聞き取るためのマイクロホンです。

②シェル

耳の中に入れる部分です。装用者の耳の形からオーダーメイドで形成します。

③音の出口

本体内部で増幅された音声信号を外耳道に導きます。

④電池ケース

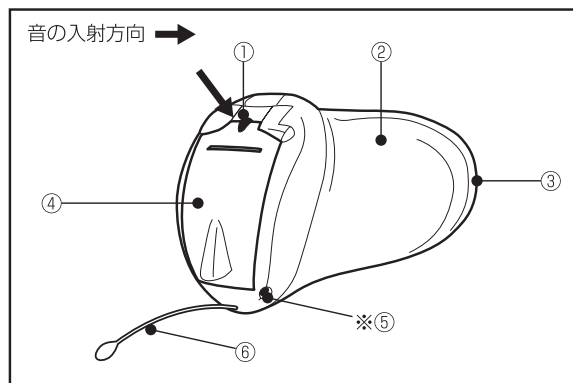
電池を収納します。(詳細は14ページをご覧ください)

⑤ベント

外耳道内の通気性を持たせると共に、音響特性を変化させます。※聴力によっては付かない場合がございます。

⑥テグス

補聴器を取り出すときのつまみです。



●AZ 10-B、10-BPの場合

①マイク（音の入口）

音声を聞き取るためのマイクロホンです。

②シェル

耳の中に入れる部分です。着用者の耳の形からオーダーメイドで形成します。

③音の出口

本体内部で増幅された音声信号を外耳道に導きます。

④電池ケース

電池を収納します。（詳細は14ページをご覧ください）

⑤プログラム選択ボタン

プログラムを切り替える（選択する）際に使用します。（詳細は26～27ページをご覧ください）

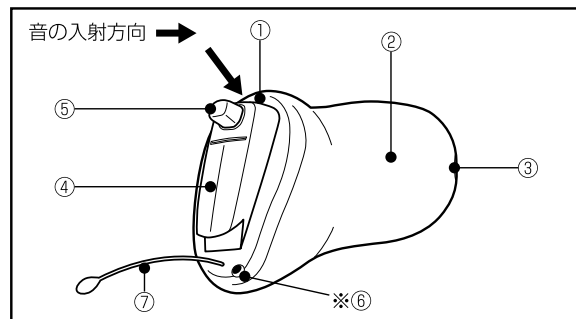
⑥ベント

外耳道内の通気性を持たせると共に、音響特性を変化させます。

※聴力によっては付かない場合がございます。

⑦テグス

補聴器を取り出すときのつまみです。



●AZ 20、20-Pの場合

①マイク（音の入口）

音声を聞き取るためのマイクロホンです。

②シェル

耳の中に入れる部分です。着用者の耳の形からオーダーメイドで形成します。

③音の出口

本体内部で増幅された音声信号を外耳道に導きます。

④電池ケース

電池を収納します。（詳細は15ページをご覧ください）

⑤ボリューム

音量を調整する際に使用します。

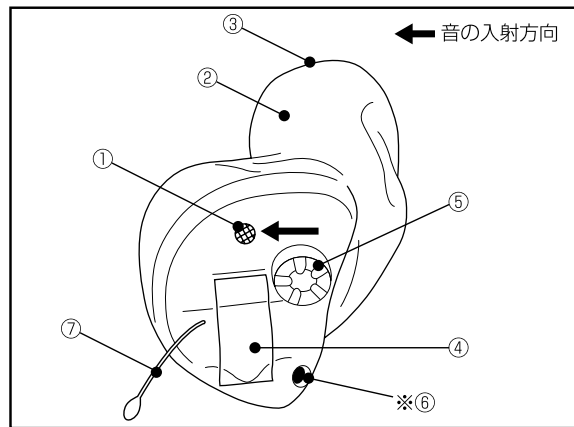
⑥ベント

外耳道内の通気性を持たせると共に、音響特性を変化させます。

※聴力によっては付かない場合がございます。

⑦テグス

補聴器を取り出すときのつまみです。



●AZ 30、30-D、30-P、30-DPの場合

①マイク 1 (音の入口 1)

音声を聞き取るためのマイクロホンです。

②マイク 2 (音の入口 2)

指向性が働くときに使われるマイクロホンです。

(詳細は11ページをご覧ください)

※AZ 30-D、30-DPのみ

③シェル

耳の中に入れる部分です。着用者の耳の形からオーダーメイドで形成します。

④電池ケース

電池を収納します。(詳細は15ページをご覧ください)

⑤プログラム選択ボタン

プログラムを切り替える(選択する)際に使用します。(詳細は26～27ページをご覧ください)

⑥ボリューム

音量を調整する際に使用します。

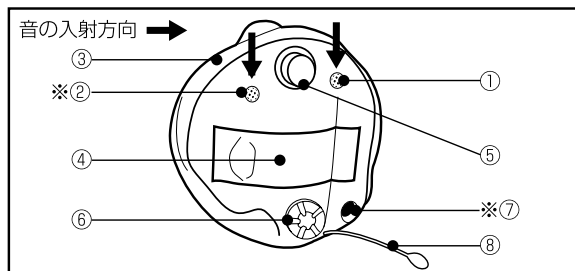
⑦ベント

外耳道内の通気性を持たせると共に、音響特性を変化させます。

※聴力によっては付かない場合がございます。

⑧テグス (オプション)

補聴器を取り出すときのつまみです。



●AZ 40、40-D、40-P、40-DPの場合

①マイク 1 (音の入口 1)

音声を聞き取るためのマイクロホンです。

②マイク 2 (音の入口 2)

指向性が働くときに使われるマイクロホンです。

(詳細は11ページをご覧ください)

※AZ 40-D、40-DPのみ

③シェル

耳の中に入れる部分です。着用者の耳の形からオーダーメイドで形成します。

④電池ケース

電池を収納します。(詳細は15ページをご覧ください)

⑤プログラム選択ボタン

プログラムを切り替える(選択する)際に使用します。(詳細は26～27ページをご覧ください)

⑥ボリューム

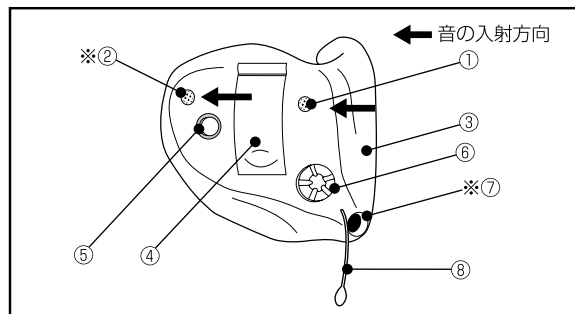
音量を調整する際に使用します。

⑦ベント

外耳道内の通気性を持たせると共に、音響特性を変化させます。※聴力によっては付かない場合がございます。

⑧テグス (オプション)

補聴器を取り出すときのつまみです。



●AZ 50、50-D、50-P、50-DPの場合

①マイク 1 (音の入口 1)

音声を聞き取るためのマイクロホンです。

②マイク 2 (音の入口 2)

指向性が働くときに使われるマイクロホンです。

(詳細は右ページをご覧ください)

※AZ 50-D、50-DPのみ

③シェル

耳の中に入れる部分です。着用者の耳の形からオーダーメイドで形成します。

④電池ケース

電池を収納します。(詳細は15ページをご覧ください)

⑤プログラム選択ボタン

プログラムを切り替える(選択する)際に使用します。

(詳細は26～27ページをご覧ください)

⑥ボリューム

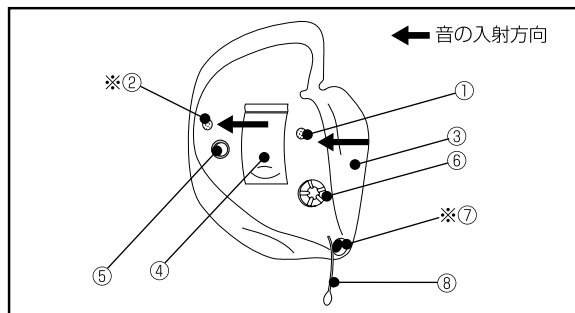
音量を調整する際に使用します。

⑦ベント

外耳道内の通気性を持たせると共に、音響特性を変化させます。※聴力によっては付かない場合がございます。

⑧テグス (オプション)

補聴器を取り出すときのつまみです。



2-3 指向性マイク (マイク2) について

(AZ 30-D、30-DP、40-D、40-DP、50-D、50-DPのみ)

これらの補聴器にはマイクロホンが2つ(マイク1とマイク2)ついています。無指向性のプログラムを選択した場合はマイク1のみが作動し、頭部などの影響を除けば、全方位からの音を聞くことができます。指向性のプログラムを選択した場合は、マイク2も一緒に作動し、2つのマイクロホンに入ってくる音の時間差を検出、分析処理して後ろや横からの音を抑え、前方からの音がよりはっきりときこえるようにします。

3 電池使用上の注意

⚠ 警告

- (1) 電池を分解、加熱、火にいれるなどしないでください。
- (2) ショートさせたり、ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- (3) 電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- (4) 電池を誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、電池を錠剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。
- (5) 電池内部の液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、ただちに医師へご相談ください。

⚠ 注意

- (6) +、-を逆向きに入れないでください。
- (7) 空気電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ破損の恐れがあります。
- (8) 使い切った電池はできるだけ早く補聴器本体から取り出してください。そのまま長く放置すると、液漏れ等のため補聴器を傷めることがあります。
- (9) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。未使用の電池は電池の使用推奨期限まではお使いになれます。
- (10) 電池を冷蔵庫に入れて保管しないでください。
- (11) 乾燥ケース内で補聴器を乾燥させる場合は、必ず電池を抜いてください。
- (12) 必ず指定されたタイプの電池を使用してください。
- (13) 石油ヒーターやガスヒーター等の暖房器具から発生する二酸化炭素により電解液が劣化することがありますので、火気を用いる暖房器具を使用する場合は、換気を十分に行ってください。
- (14) 気温が低く電池が冷えている場合は、体温で少し暖めてからご使用ください。
- (15) 使用済みの電池は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。

4 電池の交換方法

4-1 電池を取り出す

電池ケースを下図のようにそっと開いて、古い電池を出してください。(図1参照)

4-2 電池を入れる

(1) 電池に貼ってあるシールを外して数分間放置してください。

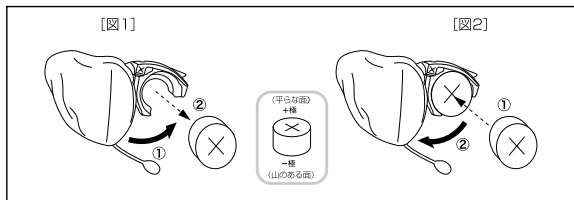
(2) 電池を+-の向きに注意して電池ケースに入れます。その後、そっと電池ケースを閉めてください。(図2参照)

また、補聴器をしばらく装用されない場合は、電池を補聴器から外してください。

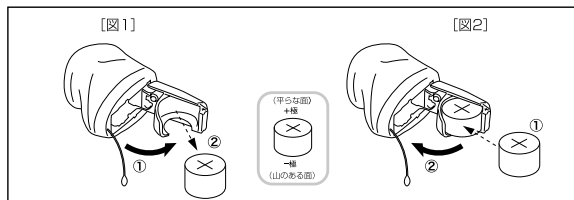
⚠ 注意

電池がうまく入らない場合は、無理に入れようとせず電池の向きと種類を確認してください。

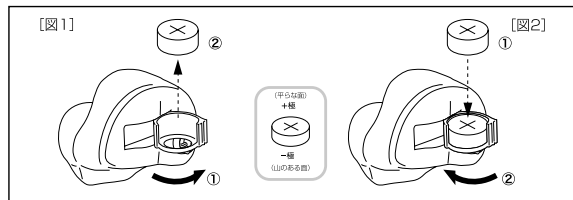
●AZ 10、10-Pの場合



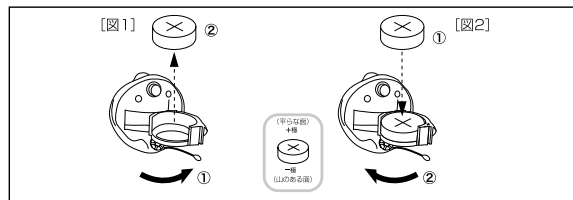
●AZ 10-B、10-BPの場合



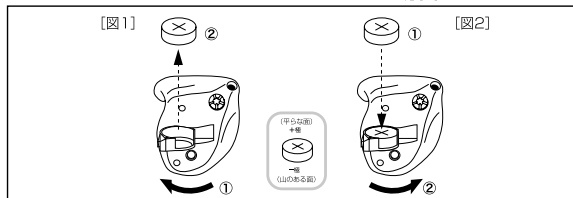
●AZ 20、20-Pの場合



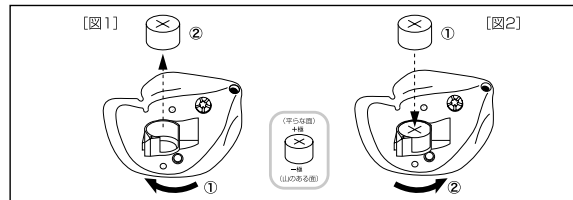
●AZ 30、30-D、30-P、30-DPの場合



●AZ 40、40-D、40-P、40-DPの場合



●AZ 50、50-D、50-P、50-DPの場合



4-3 使用電池と電池寿命の目安

●AZ 10、10-B、10-BPの場合

- 本器で使用する電池：空気電池 PR536／10A
- 電池寿命（連続使用時間）：約110時間

●AZ 10-Pの場合

- 本器で使用する電池：空気電池 PR536／10A
- 電池寿命（連続使用時間）：約105時間

●AZ 20の場合

- 本器で使用する電池：空気電池 PR536／10A
- 電池寿命（連続使用時間）：約110時間

●AZ 20-Pの場合

- 本器で使用する電池：空気電池 PR536／10A
- 電池寿命（連続使用時間）：約105時間

●AZ 30、30-Dの場合

- 本器で使用する電池：空気電池 PR41／312
- 電池寿命（連続使用時間）：約175時間

●AZ 30-P、30-DPの場合

- 本器で使用する電池：空気電池 PR41／312
- 電池寿命（連続使用時間）：約170時間

●AZ 40、40-D、40-P、40-DPの場合

- 本器で使用する電池：空気電池 PR41／312
- 電池寿命（連続使用時間）：約165時間

●AZ 50、50-D、50-P、50-DPの場合

- 本器で使用する電池：空気電池 PR48／13
- 電池寿命（連続使用時間）：約290時間

注意

- (1)必ず空気電池を使用してください。
- (2)電池寿命はプログラムの設定などの使用状況によって異なります。

4-4 電池寿命お知らせ機能

電池残量が少なくなってくると、交換を知らせる電子音（ピッ、ピッ、ピッ、ピッ）が電池が無くなるまで5～10分おきに繰り返し鳴ります。その後、補聴器の電源が自動的に切れます。電池交換を知らせる電子音が鳴りましたら、必ず新しい電池と交換してください。電池切れに備えて、予備の電池を常に携行することをおすすめします。この機能はお買い求めの販売店で調整することができます。

5 基本的な使い方

5-1 電源の入れ方／切り方

電源の入／切は電池ケースで行います。電池ケースを完全に閉じると電源が入り、開けると電源が切れます。

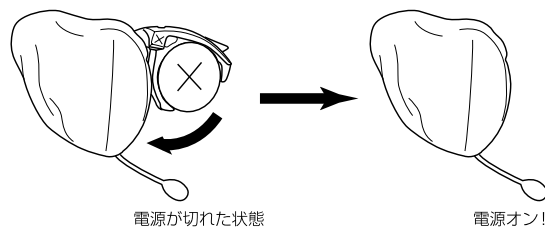
■スマートスタート機能

スマートスタートは電池ケースを閉じてから10秒後に電源が入る機能です。電池ケースを閉じた後、1秒間隔で電子音（ピッ、ピッ、ピッ…）が鳴り、機能が働いていることをお知らせします。この機能により、装用するときに不快なハウリング（ピーピー音）の発生を防ぐことができます。この機能はお買い求めの販売店で設定することができます。

●AZ 10、10-Pの場合

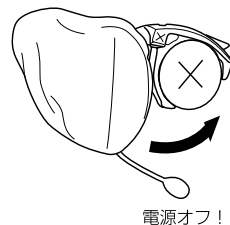
■電源の入れ方

下図のように電池ケースをそっと閉じます。
（しっかりと最後まで閉めてください）



■電源の切り方

電源を切るときは、爪を使って電池ケースをそっと開けます。

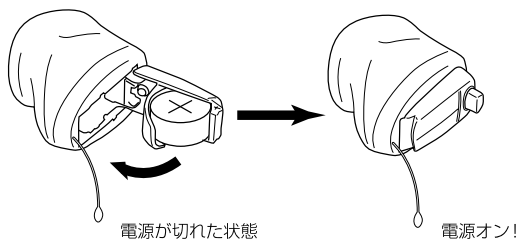


※電池の消耗を防ぐために電源の切り忘れにご注意ください。

●AZ 10-B、10-BPの場合

■電源の入れ方

下図のように電池ケースをそっと閉じます。
(しっかりと最後まで閉めてください)



■電源の切り方

電源を切るときは、爪を使って電池ケースをそっと開けます。

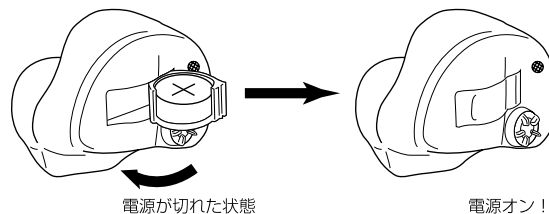


※電源投入時はプログラム1が自動選択されます。
※電池の消耗を防ぐために電源の切り忘れにご注意ください。

●AZ 20、20-Pの場合

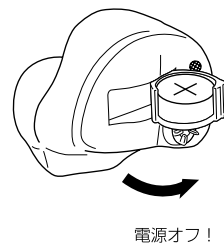
■電源の入れ方

下図のように電池ケースをそっと閉じます。
(しっかりと最後まで閉めてください)



■電源の切り方

電源を切るときは、爪を使って電池ケースをそっと開けます。

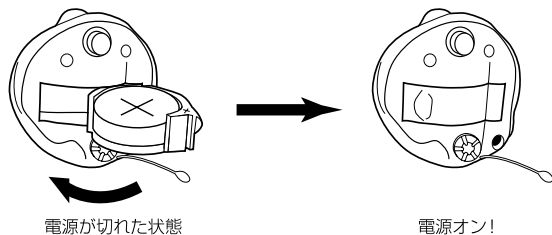


※電池の消耗を防ぐために電源の切り忘れにご注意ください。

●AZ 30、30-D、30-P、30-DPの場合

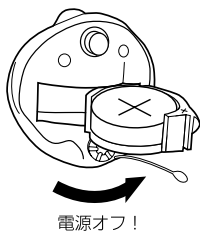
■電源の入れ方

下図のように電池ケースをそっと閉じます。
(しっかりと最後まで閉めてください)



■電源の切り方

電源を切るときは、爪を使って電池ケースをそっと開けます。

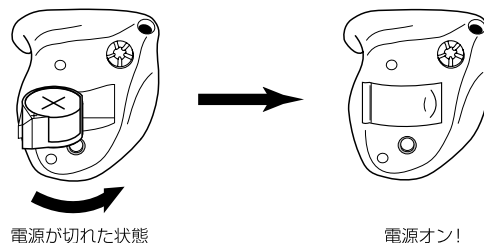


※電源投入時はプログラム1が自動選択されます。
※電池の消耗を防ぐために電源の切り忘れにご注意ください。

●AZ 40、40-D、40-P、40-DP、 50、50-D、50-P、50-DPの場合

■電源の入れ方

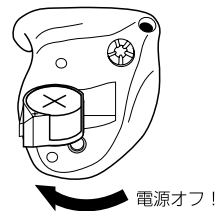
下図のように電池ケースをそっと閉じます。
(しっかりと最後まで閉めてください)



※図はAZ40タイプ

■電源の切り方

電源を切るときは、爪を使って電池ケースをそっと開けます。

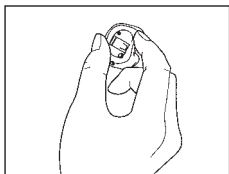


※電源投入時はプログラム1が自動選択されます。
※電池の消耗を防ぐために電源の切り忘れにご注意ください。

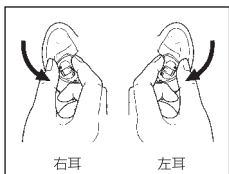
5-2 補聴器の装着

■補聴器のつけ方

1) 右図のように、プログラム選択ボタンの位置が補聴器の下側になる向きで、親指と人差し指で補聴器をつまみます。



2) 音の出口側を耳の穴に入れ、右図のように補聴器を矢印の方向（前方から後方）へ少しねじりながら、耳にピッタリと収まるまで押し込んでください。



※補聴器から「ピーピー」というハウリング音がするときは、原因の一つとしてシェルが耳あなにきちんと装着されていない場合があります。（耳たぶをつまんで引っ張ったり、口を開閉すると外耳道が広がり挿入しやすくなる場合があります）

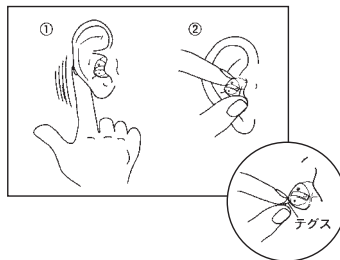
⚠注意

きちんと装着しているのにハウリング音が止まらなかったり、補聴器が耳に合わない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

■補聴器の外し方

1) 下図①のように耳たぶの後ろの部分に指をあて、軽くマッサージする要領で押しながら上下に動かすと、補聴器が浮いて取り出しやすくなります。

2) 下図②のように補聴器をつまんで耳から取り出します。（取り出し用のテグスが付いている場合は、テグスをつまんで補聴器を引き出してください）



※補聴器を取り出すときにハウリング（ピーピー音）がすることがありますが、補聴器と外耳道との間にすき間ができていないため、故障ではありません。補聴器を耳から外してください。

5-3 プログラム選択ボタンの使い方

(AZ 10-B、10-BP、30、30-D、30-P、30-DP、40、40-D、40-P、40-DP、50、50-D、50-P、50-DPのみ)

■プログラム選択ボタン

プログラム選択ボタンは、プログラムを切り替えるときに使用します。お客様一人ひとりのきこえや使用環境に合わせて、通常のプログラムを最大で4つのプログラムを設定することができます。詳細についてはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源が入った状態で、プログラム選択ボタンを押すだけで簡単にプログラムを切り替えることができます。プログラムを切り替える度に「ピッ」という『お知らせ音』が鳴りますので、『お知らせ音』の回数によって、どのプログラムが選択されたか分かります。

お知らせ音の鳴る回数

- プログラム1：1回「ピッ」
- プログラム2：2回「ピッ、ピッ」
- プログラム3：3回「ピッ、ピッ、ピッ」
- プログラム4：4回「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」

2プログラムの場合は、1→2、2→1の順番で切り替わります。3プログラムの場合は、1→2、2→3、3→1の順番で切り替わります。4プログラムの場合は、1→2、2→3、3→4、4→1の順番で切り替わります。

※電源投入時、スタンバイモードからの復帰時はプログラム1が自動選択されます。(詳細は右ページ下をご覧ください)

※テレコイルはオプションになります。(詳細は29ページをご覧ください)

■プログラム設定

お買い求めの販売店でおお客様の補聴器に設定されている環境プログラムの内容を下記の表に記入します。どのプログラムをいつ、どのように選択すればよいか判断するためにお使いください。

プログラム	内容・使用環境

■消音機能 (スタンバイモード)

補聴器を装着する際に発生するハウリングがわずらわしい場合は、一時的に消音することができます。電源が入っている状態でプログラム選択ボタンを長押しすると「ピッ」という『お知らせ音』が5回鳴り、その後一時的に消音状態になります。装着後、再度プログラム選択ボタンを押すと、『お知らせ音』(1回)と共に元の状態に戻りプログラム1が選択されます。

5-4 ボリュームの使い方

(AZ 20、20-P、30、30-D、30-P、30-DP、40、40-D、40-P、40-DP、50、50-D、50-P、50-DPのみ)

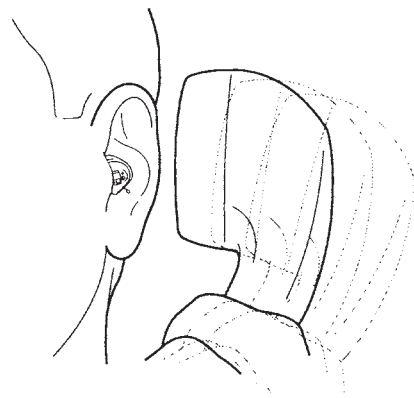
ボリューム付きの補聴器は、様々な環境で必要に応じてご自身で音量を調整することが可能です。但し、聴力レベルに適應させるために補聴器の増幅調整が的確に行われている場合は、基本的にはボリューム操作は不要です。

■ボリューム調整

補聴器装着時にボリュームを前方向に回すことにより音量は上がり、音量を下げたい場合はボリュームを後ろ方向に回します。ボリュームを回している間はお知らせ音が聞こえますが、上限および下限に到達すると音質が変わります。(ピッピツ→ポー)

5-5 電話での使用

「耳あな形補聴器 AZ」は、装着したままでも電話を使用することができます。下図のように受話器を補聴器の一番上のマイク部分に近づけてください。そのとき、マイクには直接あてないように注意してください。もし、電話中にハウリング(ピーピー音)が起こった場合は、受話器を補聴器から遠ざけてください。



5-6 テレコイル(オプション)について

(AZ 30、30-D、30-P、30-DP、40、40-D、40-P、40-DP、50、50-D、50-P、50-DPのみ)

「耳あな形補聴器 AZ」には、テレコイルを付けることができます。テレコイルは、教室、公共施設、家庭内等のループシステムのある場所で、他の音に阻害されることなく必要な音を聴取するときに使用します。

また、強い誘導信号を出力するコイルを内蔵した受話器であれば、電話でお使いいただくことができます。

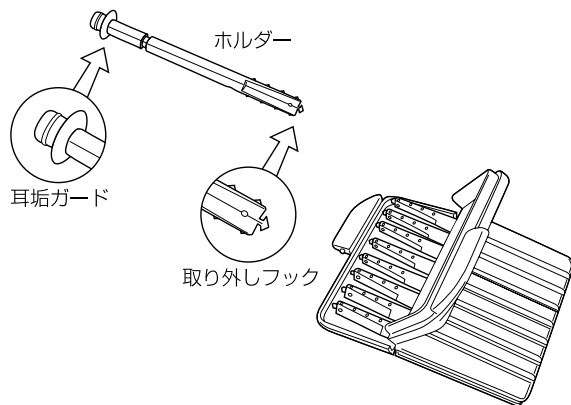
テレコイルの詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

6 耳垢ガードの交換

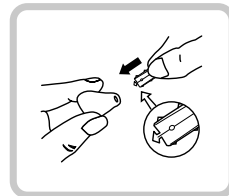
補聴器内部に耳垢や異物が詰まらないようにするために、音の出口には、耳垢ガードが取り付けられています。

通常の使用では、フィルタを毎日掃除することにより長時間快適に補聴器を使用することが可能ですが、水分を多く含んだ耳垢などが耳垢ガードに付着すると、耳垢ガードの網目がふさがってしまい、場合によっては補聴器の音が聞こえなくなってしまうこともあります。この場合には、以下に示す順序に従って、耳垢ガードを交換してください。

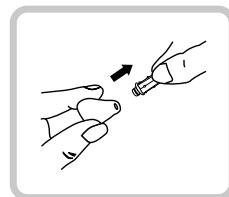
■ 「セルストップ」(付属品) の場合



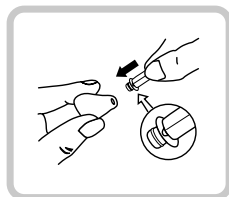
- 1) 付属のホルダーの先端（取り外しフック側）を補聴器の耳垢ガードに差し込みます。



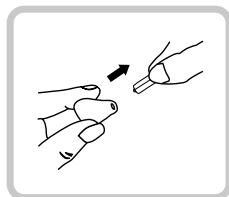
- 2) そのまま真っ直ぐに、耳垢ガードごと引き抜きます。



- 3) ホルダーの反対側の先端（耳垢ガード側）を補聴器の先端に押し込みます。



- 4) ホルダーをそのまま真っ直ぐに引き抜きます。

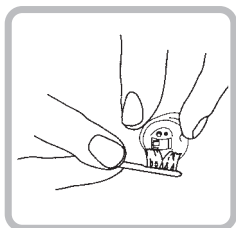


7 日頃のお手入れ

補聴器はいつも清潔にしておいてください。ご使用後は、付属の掃除ブラシで耳垢を取り除き、クリーニングクロス又はティッシュペーパー等で油分や湿気を拭き取ってください。取りきれない汚れなどは、お買い求めの販売店で取り除いてもらってください。そのままお使いになると、補聴器の機能に影響をあたえるばかりでなく、故障の原因になります。

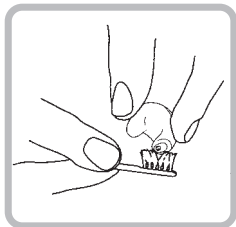
■音の入口のお手入れ

付属のブラシでゴミなどを取り除いて、常に清潔にしておいてください。



■音の出口のお手入れ

付属のブラシでゴミなどを取り除いて、常に清潔にしておいてください。



■耳垢について

ほんの少しの耳垢でも、補聴器の機能に影響をあたえます。補聴器を装着されている方は、時々耳鼻科を受診し、耳の中をきれいにしてもらってください。また、定期的に耳の検診を受けることをおすすめします。

■補聴器の保管について

補聴器はいつも乾燥した状態にしておいてください。補聴器は汗や湿気に弱いので、装着後は必ず、乾燥ケースに一晩入れておいてください。この時、必ず電池を抜いてください。

⊘ 禁止

- (1) 補聴器を水や他の液体に浸すことは、故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- (2) シンナー、ベンジン、ベンゾールまたは濡れた布で拭くことは避けてください。

⚠ 注意

- (1) 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジ等を使わないでください。また、直射日光に長時間さらさないでください。外部変形及び外部変色、内部損傷や焼失の原因となります。
- (2) 乾燥剤を焼いたり、電子レンジで温めたりなどして、再利用しないでください。乾燥剤の色が変わったら（青色→ピンク）新しいものと交換してください。
- (3) 乱暴な扱いは補聴器の故障の原因となります。床など固い面に落とさないでください。

8 故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
音がきこえない	電源が入っていない。	電池ケースを閉じる。
	電池が消耗している。	電池を新しい物に交換する。
	電池との接触が悪い。	電池との接触面を掃除する。
	音の出口が詰まっている。	音の出口を掃除して詰まりをとる。
	耳垢ガードが詰まっている。	耳垢ガードを新しい物と交換する／掃除する。
	スタンバイモードに入っている。	プログラム選択ボタンを押してスタンバイモードを解除する。
音の大きさが不十分	電池が切れかかっている。	電池を新しい物に交換する。
	補聴器が耳の中に正しく挿入されていない。	補聴器を正しい位置に入れ直す。
	音の出口が詰まっている。	音の出口を掃除して詰まりをとる、又は耳垢ガードを交換する。
	耳垢ガードが詰まっている。	耳垢ガードを新しい物と交換する／掃除する。
	装用者の聴力が変化した。	医師又は補聴器販売店に相談する。
	装用者の耳に過度の耳垢が詰まっている。	医師に相談する。
	プログラムの設定が合っていない。	補聴器販売店に相談する。
	設定音量が小さい。	可能であれば音量を上げる、又は補聴器販売店に相談する。

症状	原因	対策
時々音が聞こえない	電池との接触面が汚れている。	電池との接触面を掃除する。
	電池が切れかかっている。	電池を新しい物に交換する。
ハウリング(ピー音)がする	補聴器が耳の中に正しく挿入されていない。	補聴器を一度取り出してから入れ直す。
	ハウリング抑制機能の初期化が必要。	補聴器販売店に相談する。
	装用者の耳に過度の耳垢が詰まっている。	医師に相談する。
	補聴器の設定が合っていない。	補聴器販売店に相談する。
ジージー音がする	電池が切れかかっている。	電池を新しい物に交換する。
	電池との接触が悪い。	電池との接触面を掃除する。
音が不明瞭、音が歪む	電池が切れかかっている。	電池を新しい物に交換する。
	プログラムの設定が合っていない。	補聴器販売店に相談する。
	補聴器のシェルの形が悪い。	補聴器販売店に相談する。

※対策をしても解決しない場合は、お買い求めの販売店
にご相談ください。

9 アフターサービスについて

■保証書（別添付）

お買い上げ日、販売店名などの記入を必ずお確かめになり、大切に保管してください。

■修理について

●保証期間中

保証書を添えてお買い求めの販売店へお持ちください。保証書の規定に従って、修理いたします。保証書の提示がない場合は有料となります。

●保証期間後

お買い求めの販売店もしくは弊社にご相談ください。修理により使用可能な場合は、ご希望により有料で修理いたします。

■お問い合わせ先

修理・お取扱い・お手入れ・付属品などのご不明な点は、お買い求めの販売店もしくは弊社のカスタマーサービス（0120-921-310）までお問い合わせください。

■仕様について

改良のため仕様は予告なく変更される場合があります。

10 性能表

●AZ 10、20

性能表		IEC 60118-0 IEC 711 (イヤシミュレータ)
規準利得(入力音圧60dB SPL)	1600Hz	25dB
最大音響利得(入力音圧50dB SPL)	ピーク	41dB
	1600Hz	35dB
90dB最大出力音圧レベル	ピーク	118dB SPL
	1600Hz	112dB SPL
全高調波歪	800Hz	0.8%
	1600Hz	0.5%
等価入力雑音レベル		24dB SPL
周波数範囲(DIN 45605)		100-5880Hz
電池電流		0.85mA
電池寿命	PR536/10A	110時間

※数値は参考値です。

●AZ 10-P、20-P

性能表		IEC 60118-0 IEC 711 (イヤシミュレータ)
規準利得(入力音圧60dB SPL)	1600Hz	31dB
最大音響利得(入力音圧50dB SPL)	ピーク	49dB
	1600Hz	41dB
90dB最大出力音圧レベル	ピーク	123dB SPL
	1600Hz	118dB SPL
全高調波歪	800Hz	1.0%
	1600Hz	0.9%
等価入力雑音レベル		25dB SPL
周波数範囲(DIN 45605)		100-5990Hz
電池電流		0.88mA
電池寿命	PR536/10A	105時間

※数値は参考値です。

●AZ 10-B

性能表		IEC 60118-0 IEC 711 (イヤシミュレータ)
規準利得(入力音圧60dB SPL)	1600Hz	26dB
最大音響利得(入力音圧50dB SPL)	ピーク	41dB
	1600Hz	36dB
90dB最大出力音圧レベル	ピーク	119dB SPL
	1600Hz	112dB SPL
全高調波歪	800Hz	0.7%
	1600Hz	0.9%
等価入力雑音レベル		29dB SPL
周波数範囲(DIN 45605)		100-6140Hz
電池電流		0.83mA
電池寿命	PR536/10A	110時間

※数値は参考値です。

●AZ 10-BP

性能表		IEC 60118-0 IEC 711 (イヤシミュレータ)
規準利得(入力音圧60dB SPL)	1600Hz	32dB
最大音響利得(入力音圧50dB SPL)	ピーク	50dB
	1600Hz	42dB
90dB最大出力音圧レベル	ピーク	124dB SPL
	1600Hz	119dB SPL
全高調波歪	800Hz	1.5%
	1600Hz	1.1%
等価入力雑音レベル		28dB SPL
周波数範囲(DIN 45605)		120-6330Hz
電池電流		0.86mA
電池寿命	PR536/10A	110時間

※数値は参考値です。

●AZ 30、30-D

性能表		IEC 60118-0 IEC 711 (イヤシミュレータ)
規準利得(入力音圧60dB SPL)	1600Hz	34dB
最大音響利得(入力音圧50dB SPL)	ピーク	52dB
	1600Hz	46dB
90dB最大出力音圧レベル	ピーク	121dB SPL
	1600Hz	117dB SPL
全高調波歪	800Hz	2.0%
	1600Hz	2.2%
コイル感度 (1mA/m)	ピーク	83dB SPL
等価入力雑音レベル		26dB SPL
周波数範囲(DIN 45605)		100-6440Hz
電池電流		0.92mA
電池寿命	PR41/312	175時間

※数値は参考値です。

●AZ 30-P、30-DP

性能表		IEC 60118-0 IEC 711 (イヤシミュレータ)
規準利得(入力音圧60dB SPL)	1600Hz	39dB
最大音響利得(入力音圧50dB SPL)	ピーク	58dB
	1600Hz	51dB
90dB最大出力音圧レベル	ピーク	128dB SPL
	1600Hz	122dB SPL
全高調波歪	800Hz	1.7%
	1600Hz	2.0%
コイル感度 (1mA/m)	ピーク	90dB SPL
等価入力雑音レベル		26dB SPL
周波数範囲(DIN 45605)		100-6580Hz
電池電流		0.95mA
電池寿命	PR41/312	170時間

※数値は参考値です。

●AZ 40、40-D、50、50-D

性能表		IEC 60118-0 IEC 711 (イヤシミュレータ)
規準利得(入力音圧60dB SPL)	1600Hz	40dB
最大音響利得(入力音圧50dB SPL)	ピーク	61dB
	1600Hz	52dB
90dB最大出力音圧レベル	ピーク	129dB SPL
	1600Hz	122dB SPL
全高調波歪	800Hz	2.6%
	1600Hz	2.9%
コイル感度 (1mA/m)	ピーク	91dB SPL
等価入力雑音レベル		27dB SPL
周波数範囲(DIN 45605)		100-6440Hz
電池電流		0.99mA
電池寿命	AZ40、40-D PR41/312 AZ50、50-D PR48/13	165時間 290時間

※数値は参考値です。

●AZ 40-P、40-DP、50-P、50-DP

性能表		IEC 60118-0 IEC 711 (イヤシミュレータ)
規準利得(入力音圧60dB SPL)	1600Hz	51dB
最大音響利得(入力音圧50dB SPL)	ピーク	67dB
	1600Hz	62dB
90dB最大出力音圧レベル	ピーク	134dB SPL
	1600Hz	131dB SPL
全高調波歪	800Hz	1.5%
	1600Hz	0.7%
コイル感度 (1mA/m)	ピーク	97dB SPL
等価入力雑音レベル		24dB SPL
周波数範囲(DIN 45605)		100-4520Hz
電池電流		0.99mA
電池寿命	AZ40-P、40-DP PR41/312 AZ50-P、50-DP PR48/13	165時間 290時間

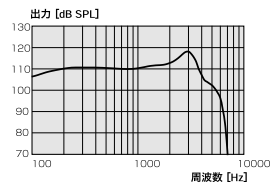
※数値は参考値です。

11 音響諸特性

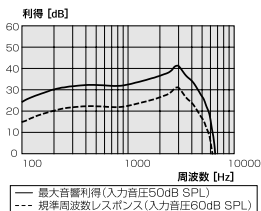
イヤシミュレータ 測定規格:IEC 60118-0

●AZ 10、20の場合

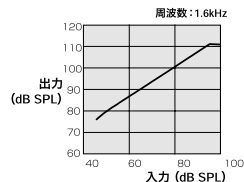
90dB最大出力音圧レベルの
周波数レスポンス



最大音響利得及び
規準周波数レスポンス

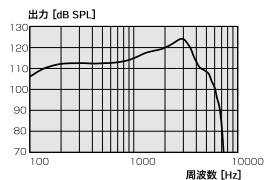


入力/出力レスポンス

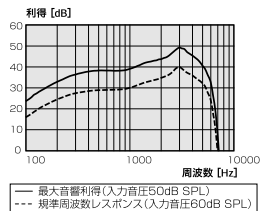


●AZ 10-P、20-Pの場合

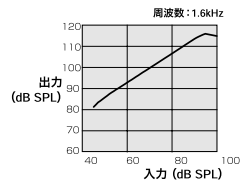
90dB最大出力音圧レベルの
周波数レスポンス



最大音響利得及び
規準周波数レスポンス



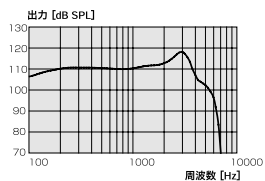
入力/出力レスポンス



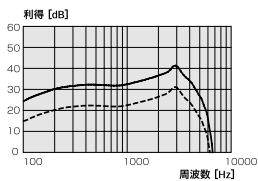
イヤシミュレータ 測定規格:IEC 60118-0

●AZ 10-Bの場合

90dB最大出力音圧レベルの
周波数レスポンス

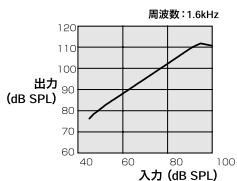


最大音響利得及び
規準周波数レスポンス



— 最大音響利得(入力音圧50dB SPL)
--- 規準周波数レスポンス(入力音圧60dB SPL)

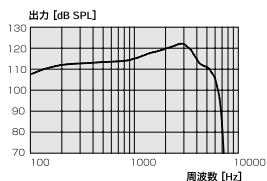
入力/出力レスポンス



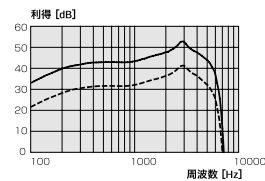
イヤシミュレータ 測定規格:IEC 60118-0

●AZ 30、30-Dの場合

90dB最大出力音圧レベルの
周波数レスポンス

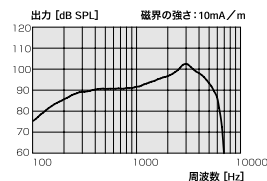


最大音響利得及び
規準周波数レスポンス

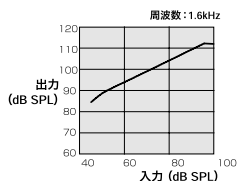


— 最大音響利得(入力音圧50dB SPL)
--- 規準周波数レスポンス(入力音圧60dB SPL)

誘導コイル入力の
周波数レスポンス

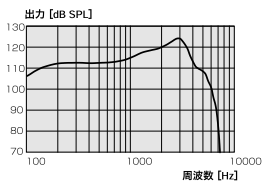


入力/出力レスポンス

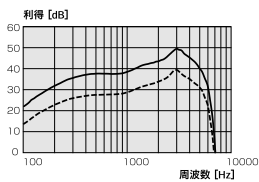


●AZ 10-BPの場合

90dB最大出力音圧レベルの
周波数レスポンス

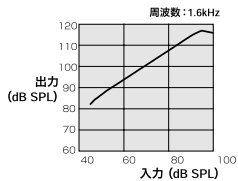


最大音響利得及び
規準周波数レスポンス



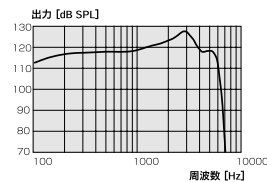
— 最大音響利得(入力音圧50dB SPL)
--- 規準周波数レスポンス(入力音圧60dB SPL)

入力/出力レスポンス

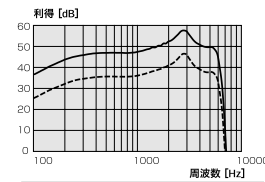


●AZ 30-P、30-DPの場合

90dB最大出力音圧レベルの
周波数レスポンス

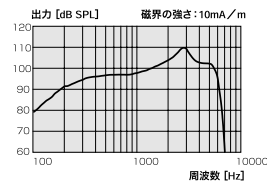


最大音響利得及び
規準周波数レスポンス

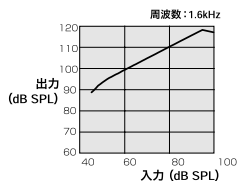


— 最大音響利得(入力音圧50dB SPL)
--- 規準周波数レスポンス(入力音圧60dB SPL)

誘導コイル入力の
周波数レスポンス



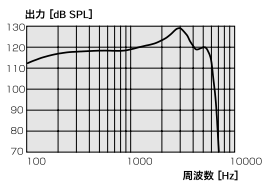
入力/出力レスポンス



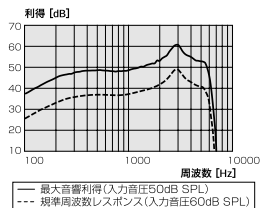
イヤシミュレータ 測定規格:IEC 60118-0

●AZ 40、40-D、50、50-Dの場合

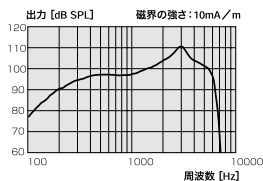
90dB最大出力音圧レベルの
周波数レスポンス



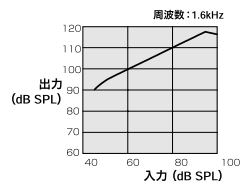
最大音響利得及び
規準周波数レスポンス



誘導コイル入力の
周波数レスポンス

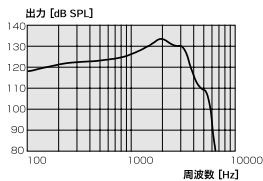


入力/出力レスポンス

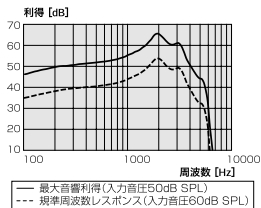


●AZ 40-P、40-DP、50-P、50-DPの場合

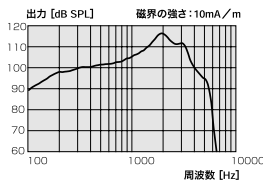
90dB最大出力音圧レベルの
周波数レスポンス



最大音響利得及び
規準周波数レスポンス



誘導コイル入力の
周波数レスポンス



入力/出力レスポンス

